

佐世保市議会
平成30年3月定例会 個人質問順序

質問日	順序	議席 番号	氏 名	所 属 会 派	質問方式	質問 時間
3月8日 (木)	1	20	大塚 克史	公明党	【一括方式】	20分
	2	7	朝長 満洋	緑政クラブ	【一括方式】	15分
	3	12	古家 勉	社会民主党	【一括方式】	15分
	4	29	長野 孝道	緑政クラブ	【一括方式】	25分
	5	11	柴山 賢一	市民クラブ	【一括方式】	15分
	6	14	崎山 信幸	自民党市民会議	【一括方式】	30分
3月9日 (金)	7	26	松尾 裕幸	自民党市民会議	【一括方式】	30分
	8	28	浦 日出男	緑政クラブ	【一括方式】	25分
	9	8	北野 正徳	緑政クラブ	【一問一答方式 (1回目から)】	15分
	10	24	宮城 憲彰	市政クラブ	【一括方式】	30分

○ 大 塚 克 史

(20分)

【一括方式】

- 1 マイナンバー制度におけるマイナポータルを活用について
 - マイナポータル運用開始に伴うサービスの取り組みについて
 - マイナンバーカードの普及状況について

- 2 ポケットカルテの導入について
 - 地域医療提供体制を確立するための情報基盤整備について

○ 朝 長 満 洋

(1 5 分)

【一括方式】

1 農地及び道路冠水対策の状況について

平成28年12月定例会の一般質問において江上地区（指方町）における大雨の際の農地及び道路（市道・県道・国道）の冠水について質問を行ったが、対策等その後の状況について問う。

- 施設の排水能力などの検証状況について
- 排水路及び排水門の運用状況について

○ 古 家 勉 (15分)

【一括方式】

1 地球温暖化防止対策について

- ISO14001の取り組みと総括、佐世保市独自の環境マネジメントシステムの取り組みについて

市役所は率先した環境保全に向けた取り組みを行い、市民や事業者に模範を示すべきである。

そのような中、市役所ではISO14001を認証取得し、環境活動に取り組んでいたが、その結果はどうだったのか。また、現状においては、その認証を返上し、市独自の環境マネジメントシステムを構築し、運用されているが、その見直しに至った経緯と現在の取り組み状況について伺う。

- 今後の市役所の取り組みについて

来年度から、新たな計画である「佐世保市地球温暖化対策実行計画<事務事業編>第4次改訂版」がスタートすると聞いているが、現在の独自のシステムをどのように見直し、今後、どのように取り組んでいかれるのかを伺う。

○ 長 野 孝 道 (25分)

【一括方式】

1 西九州北部地域の中心市としての佐世保市の役割について

- 西九州させぼ広域都市圏の中心市として、各市町と連携する施策、事業の取り組みについて
- 地域の活力を維持していくためには、第一次産業の果たす役割は大変大きいと考えられるが、各市町との連携に係る方向性の考え方について
- 西九州北部地域の交通手段として大きな役割を担っているMRについて

2 佐世保市内の人口減少地区での小学校、中学校の今後のあり方について

- 義務教育学校について

3 3010（さんまるいちまる）運動について

- 食品ロス削減に向けた取り組み状況について

○ 柴 山 賢 一

(1 5 分)

【一括方式】

1 クルーズ船の大型化に伴う乗船客の受け入れ環境について

- クルーズ船が7万トン級から10万トン級に変わってどのような不具合があるのか。
- 展海峰の課題について
- 観光地への道路の整備について

○ 崎 山 信 幸 (30分)

【一括方式】

- 1 本市職員の国の省庁への出向について並びに東京事務所のあり方について
 - 昨年、基地対策特別委員会において要望活動をした中で、外務省の出先機関設置についての逆提案があり、本市の職員において防衛省・外務省等出向されてはとの考えを伺ったが、本市対応についてお伺いいたします。
 - 本市の要望活動等にしての、今後の東京事務所のあり方についてお伺いいたします。

- 2 本市の外国人労働者雇用に対する考え方について
 - 人口減少、人口流失による労働者不足・国際的な競争激化によるコストダウンの必要性等、外国人労働者雇用を活用する自治体がふえている中、本市においての外国人労働者雇用に対する考え方についてお伺いいたします。

- 3 ごみステーションにおける、ごみ出し適正排出について
 - ごみステーションへのごみ出しが困難な高齢者等への、本市におけるごみ出し支援策についてお伺いいたします。
 - 町内会未加入者のごみ排出の現状並びに対策についてお伺いいたします。
 - ごみステーション設置数についての今後の考え方をお伺いいたします。

○ 松 尾 裕 幸

(3 0 分)

【一括方式】

1 カジノを含む統合型リゾート施設（I R）について

- I R実施法案を含む、国の動向について
- 長崎県におけるI R導入に向けた長崎県・佐世保市I R推進協議会の取り組みについて
- ギャンブル等依存症対策強化について

2 動物愛護センターについて

- 動物愛護センター建設に係る経過について
- 動物愛護センターの必要性について
- 今後のスケジュールについて

3 映画「坂道のアポロン」について

- 佐世保市内で「ロケ」があった「坂道のアポロン」が3月10日（土）に全国公開される。その風景を訪ね歩く「聖地巡礼者」等への対応について

○ 浦 日 出 男

(25分)

【一括方式】

1 自治体消防の現状と課題について

- 自治体消防の基本的な考え方について
- 消防組織のガバナンスについて

2 教育行政について

- 学校2学期制について

3 バス事業再編について

- 住民説明会の状況について
- 子会社の収支予測と再編後の体制について
- 公共交通再編実施計画の計画期間と交通局営業所敷地の利活用について

○ 北 野 正 徳 (15分)

【一問一答方式（1回目から）】

1 林業行政と森林組合合併について問う

「行政にできること」については限界がある。一方、民間の活動を助長する行政の役割については、可能性が大きく、その活動への期待は大きい。林業行政は、森林組合と一体的に進めることで効率性は高まり、また、森林組合経営の安定強化は地域森林資源の多面的活用のかなめである。森林組合合併という民力増強について行政が果たすべき役割があるのではないかについて、問うものである。

○ 宮 城 憲 彰 (30分)

【一括方式】

1 佐世保市地域経済の活性化と産業振興の取り組みについて

日本経済は戦後混乱期から復興期、高度成長期、安定成長期、経済変革期の現在に至っている。本市の経済動向をみると、戦後復興期の昭和25年朝鮮戦争が勃発し、市もその特需の恩恵を受けた。

その後、高度成長期の昭和29年から36年にかけて神武景気、岩戸景気と言われる時代が続き、昭和35年には池田勇人首相による所得倍増計画が打ち出された。昭和39年東京オリンピック開催、いざなぎ景気の中、昭和45年大阪万博が開かれ、昭和47年田中角栄首相提唱の日本列島改造論が脚光を浴び、翌昭和48年オイルショック、その後、安定成長期に入りバブル景気時代が到来、平成3年バブル景気崩壊、平成4年以降経済変革期を迎え、平成13年から20年までいざなみ景気、そして平成24年から現在までアベノミクス景気と称される景気が戦後2番目の長さの記録として続いている。戦後約73年経過し、本市の経済も浮き沈みを繰り返してきたが、経済動向の経緯、推移について統計上の数値に基づき佐世保経済の実態を総括的にどう分析しているかお伺いする。

佐世保の経済動向を見ると、産業構造が非常に脆弱のように思う。今後の課題として人口減少の進行、少子高齢社会の進行などを考えるとき、経済の活性化、産業の戦略的育成、地場中小企業の育成は急務である。次期総合計画の策定が進む中、まち・ひと・しごと創生総合戦略、連携中枢都市圏構想の推進が重要な課題として2年延長され、平成32年度より実施される。その中で経済の活性化、産業振興は最重要課題であり、いかにして産業基盤の強化を図っていくか、中核市としていかにして20万人の人口を維持していくか、若者の地元定着をどう図っていくかが問われる。そのための手法として各種産業の振興にどう取り組んでいくかお伺いする。

○ 昭和20年から現在までの佐世保市の経済動向について

○ 今後の活性化のカギと課題

- ・ 今後、本市の発展、まちづくりのためには経済の活性化、各種産業の振興・戦略的育成が不可欠。足腰の強い産業の柱を確立し、どんな不況にも耐え得る産業構造の構築が必要
- ・ 観光産業のさらなる振興
- ・ 第一次産業、防衛関連産業、造船関連産業、海洋関連産業の振興及び国の

出先・研究所の誘致

- ・ 地元製造業の強化
- 産業支援センターの充実・強化
 - ・ 創業支援と既存中小企業の支援について
- 企業誘致の推進と受け皿としての団地整備
- 産業振興を図る推進体制の整備について
 - ・ 産業振興プランの作成が急務
 - ・ 官民連携、商工会議所との連携、産業支援センターとの連携